



第 157 号

平成 24 年 4 月 1 日
小松市史編纂事務局
へんさんしつ便り

3 月は寒い日が多かったですね…！“暑さ寒さも彼岸まで”と言いますが春分の日だった 3 月 20 日も全国的に寒い日でした。4 月は“これぞ春！”といった日がたくさんあればと切実に思います。さて、春といえば桜。石川県の桜の開花予想は 4 月上旬（7 日頃）から下旬にかけてのようです。日本では桜前線のニュースが当たり前のようですが、世界的に見たら面白いことかもしれませんね。日本人と桜の関係は深く、『古事記』『日本書紀』にも登場します。また、最古の詩集である『万葉集』にも桜を詠んだ詩があります。しかし奈良時代はまだ“花”と言えば“梅”を指していました。“花”＝“桜”が定着したのは平安時代以降と言われています。時代が変わっても桜を愛する気持ちは変わらない、不思議なようで妙に納得できる話です。

平安時代末期の小松 その三

前は倶利伽羅峠（1183 年 6 月 2 日）の戦いをご紹介しました。今回は【篠原の戦い】をご紹介しますがこの戦いは【安宅・篠原の戦い】とも言われています。まず安宅付近で戦が起こり劣勢となった平氏軍が退却するなかで篠原（加賀市旧篠原村地区）まで辿り着いたようです。

☞訂正：前回（156 号）倶利伽羅峠の戦いの説明で“永寿”と書きましたが正しくは“寿永”です。

【安宅篠原の戦い】 寿永 2 年 6 月 1 日（1183 年 6 月 22 日）『平家物語』に登場

倶利伽羅峠の戦いに大敗した平氏軍は、すぐに追撃を開始した源義仲軍と再び衝突する。その地が安宅・篠原だ。初め平氏軍は安宅の地で橋の板を抜き、骨組みだけにして行く手を阻む作戦に出たが源氏軍は瀬踏みをし上手く川を渡りきった。そこから源氏軍の快進撃が始まる。倶利伽羅峠で大打撃を受けた後の平氏はまたもや惨敗。甲冑をつけた武士はわずか 4、5 騎となり、その他過半数は死傷、残ったものは山林に逃亡したが討ち取られたと言われている。

この戦いで有名なのが平氏軍の斎藤別当実盛のエピソードだ（『平家物語』「篠原」「実盛」に登場）。篠原にて、実盛は総崩れとなった陣で最後の守備を引き受け奮戦。しかし源氏の手塚光盛と一騎打ちになった末に討ち取られた。実盛は名のらぬままだったため正体が分からなかったが、運ばれてきた首を見て義仲の部下・樋口兼光は「むざんやな、斎藤実盛である」と言った。髪や髭は黒くとても 70 歳過ぎには見えない。不思議に思って首を洗ってみるとみるみる白髪に変わり実盛だったことが確認された。出陣前から死を覚悟していた実盛は老武者と侮られる事を嫌がり、髪や髭を黒く染めて戦いに挑んでいたのだった。そのことを知った義仲は人目もはばからず泣いたと言われる。実盛は義仲の命の恩人であった。1155 年、実盛が源氏に仕えていた頃、源義朝・義賢の兄弟間で戦いが起こった。勝利した義朝は、義賢の息子である駒王丸を殺すように実盛に命じたが、2 歳の駒王丸を殺すに忍びなく匿った。その駒王丸こそ後の木曾義仲である。

義仲は樋口兼光を遣わし、実盛の供養をするために実盛の兜などを多太神社に奉納した。現在、多太神社で毎年 7 月下旬に行われる「かぶとまつり」はここに由来する。「かぶとまつり」では謡曲「実盛」が上演される。

《洛承・寿永の乱》とは

平安時代末期、治承4年(1180)から元暦2年(1185)にかけての6年間に起きた大規模な内乱のこと。後白河天皇の皇子・以仁王の挙兵を機に始まり、各地で平氏政権に対する反乱が起こった。平氏対源氏の戦いだけでなく反乱勢力同士の対立がありながらも平氏政権が崩壊、源頼朝を中心とした鎌倉幕府が成立した。(※一般には“源平合戦”と呼ばれることが多いが平氏に反旗を翻したのは源氏一族だけでなく寺社勢力や在地豪族などもいたこと、平氏同士、源氏同士の争いもあったことから“源平合戦”という呼称は正式ではないとされる。)

【乱の流れ】

以仁王の挙兵(山城国宇治:現京都府宇治市) - 石橋山(相模国:現神奈川県小田原市) - 波志田山(駿河国波志田山:現在地不明) - 衣笠城(相模国:現横須賀市) - 鎖西反乱(大宰府、豊後国:九州北部) - 熊野動乱(紀伊国:現和歌山県) - 市原(信濃国:現長野市) - 結城浜(下総国:現千葉市) - 鉢田(駿河国鉢田山:現在地不明) - 富士川(駿河国:現静岡県富士市) - 金砂城(常陸国:現茨城県常陸太田市) - 美濃源氏挙兵(美濃国:現岐阜県) - 近江攻防(近江国:現滋賀県) - 伊予蜂起(伊予国:元愛媛県北条市) - 南都焼討(南都:現奈良県) - 墨俣川(尾張・美濃国境付近:現長良川) - 横田河原(信濃国:長野市) - 北陸出兵(加賀国、能登国、越前国) - 野木宮(下野国:現栃木県下都賀郡) - 火打城(越前国:現福井県) - 般若野(越中国:富山県高岡市) - **倶利伽羅峠(加賀国・越中国国境)** - 志保山(能登国:現羽咋郡) - **篠原(加賀国)** - 水島(備中国:現倉敷市) - 福隆寺縄手(備中国:現岡山市) - 室山(播磨国:現兵庫県たつの市) - 法住寺(現京都市東山区) - 宇治川(現宇治市) - 粟津(近江国:現大津市) - 下津井(備中国:現倉敷市) - 沼田〔怒田〕城(現横須賀市) - 三草山(播磨国:現兵庫県) - 一の谷(摂津国:現神戸市) - 三日平氏(伊勢、伊賀、近江国:現三重、滋賀県) - 藤戸(備前国:現倉敷市) - 葦屋浦(筑前国:現福岡県遠賀郡) - 屋島(讃岐国:現高松市) - 志度(讃岐国:現さぬき市) - 壇ノ浦(長門国:現下関市)

こうやって見ると全国規模だった事がよく分かります。各地で生死をかけた戦いが繰り返された…。そんな歴史の上に今があると思うと感慨深いです。

<4月のカレンダー>

※休日が変更になるかもしれません。その際は改めてお知らせします。

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

■ は小松市史事務局の休室日、□ は小松市立図書館の休館日です。

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 / ・FAX 0761(22)9763
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・休室日 日曜日/月曜日/祝日の翌日

